

# スマホ時代の中高校生ネット教育プログラム SSP(Smart Student Program)試行事業報告

NPO法人子どもとメディア専務理事 古野 陽一

## ■開発の背景

2012年度くらいから、中学・高校ではスマホ普及に伴い、いじめ・誹謗中傷、人間関係のこじれ、個人情報流出、過剰使用による体調不良などのトラブルが急増しました。2011年度以前に、盛んに啓発していた従来型ケータイ（ガラケー）の危険が、「あのころは、まだ穏やかだった」と感じられるほどです。

そして、高校生の9割、中学生の6割がスマホを持つ時代が目前に迫っています。

スマホを手にした個人が社会に与え得るインパクトを考えると、中高生の時期に、スマホを利用するにふさわしい力を身に付け、賢く使う力を育てる必要性を強く感じます。しかし、現在、全国各地で行われている1時間程度の講演形式のネットモラルやリスク啓発授業では危険啓発がやっとなのです。

そこで、2013年度「スマホ時代の中高校生ネット教育プログラムSSP(Smart Student Program)」を開発しました。ワークショップ連続講座形式で「スマホやネットの使い方を、自分たちの今と未来のために、自分たちが考えて、自分たちで決めていく」ことを目指し、スマホを使うにふさわしい力を育てるプログラムとしました。

## ■SSPの規格

- 1) 中学生、高校生対象
- 2) 学校のクラス単位で実施（1クラス50人未満） 5～6人の班形式
- 3) 1回2校時（50分授業×2校時）全3回実施（各回の間は1週～2週間空ける）
- 4) 規定のセッション計画を元にゲームやディスカッションを進める
- 5) 所定の養成講座を受けたSSPファシリテーター2名～3名で進行

## ■スマホを使うにふさわしい力

- ・考えて言葉を発する力
- ・自分の考えを人に伝えるように表現する力
- ・自分と異なる考えを受け入れる力
- ・言葉で人と理解し合う力
- ・自分のことを振り返る力
- ・自分の未来への影響を想像する力

## ■2013年度の試行

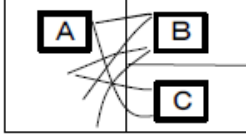
実施校 福岡県筑紫野市立筑山中学校 1年5クラス、2年5クラス

実施日	2年生	1年生
1回目	11月9日(土)09:00～10:50	11月21日(木)09:00～10:50
2回目	11月21日(木)11:00～12:50	12月6日(金)09:00～10:50
3回目	12月17日(火)09:00～10:50	12月17日(火)11:00～12:50

※8月18日(日)に中学1年生～3年生男子11名を対象に試験的に実施し

プログラム内容を事前検討した。

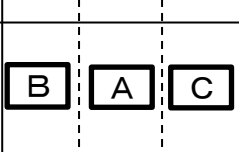
■1回目 安心して話せる場づくり、スマホ・ネットについて考える

時刻	内 容	備 考
09:00	ファシリテーター自己紹介 「SSPとは」紹介 ことば遊びゲーム「あ〇る」	班で回して3分間でどこまでできるか  こんなことされたら、うれしい、いやだ プライバシーってどんなこと
09:11	SSPの約束づくり 「意見を大切にする」 「みんなのプライバシーを守る」 追加の約束/先生の約束 スマホ・ネットのできること	
09:36	動画 Connected World	
09:50	休み時間	
10:00	スマホ・ネットのできること 連想ゲーム→3文節以上の文章に できること模造紙へ書き出し[A] 「こんなときどうする」カード	全員で一斉に「できること」を叫ぶ →単語を文章にする練習をしたうえで  「プライバシーを守る」を強調  
10:17	大人が考えるスマホ・ネットの危険 リスクプレゼン 大人が考える危険を模造紙に書き出す [B]	
10:28	困ったこと・いやだったこと 自分や知り合いのネット上での困った こと、いやだったことを模造紙に書き出 す[C]	
10:35	できること⇔困ったことの関係 模造紙上で関係があることを線で結ぶ 今日のおさらいと宿題	
10:45		
		宿題1 昔の中学生に「こんなときどうする」 インタビュー 宿題2 自分のやりたいこと・好きなこと

■2回目 自分の好きなこと・やりたいこと、時間の使い方

時刻	内 容	備 考
09:00	ファシリテーターあいさつ 「SSPとは」紹介 ことば遊びゲーム「あ〇い」 名札作り	班で回して3分間でどこまでできるか  「こんなときどうする？」シートに記入  「小1のころ好きだったこと」 1～3年、4～6年に分けて考える 宿題をやってきてない人の対応
09:16	昔の中学生「どうしてた？」 インタビュー内容を班でまとめる 1回目模造紙と昔を比べてみる	
09:28	小学生のころ好きだったこと 連想ゲーム→文章にする練習 模造紙に書き出す	
09:45	今、好きなこと・やりたいこと	
09:50	休み時間	
10:00	好きなこと・やってみたいこと 好きなことカード書き出し セルフトーナメント→ベスト3 タイムラインナップ→ベスト3 フリートーク	メディア編・アウトメディア編 12枚の好きなことカードで自己勝負 実際にやっていることの時間順  留学=他の班に行って話し合う  宿題1 今日の予定に対して実際の生活がどう だったかワークシートに書き出す 宿題2 自分のレベルアップを考えてくる
10:24	私の今日の予定 放課後から寝るまでの今日の予定 留学&フリートーク	
10:45	今日のおさらいと宿題	

■3回目 自分レベルアップと賢いスマホ・ネットの使い方

時刻	内容	備考
09:00	ファシリテーターあいさつ 「SSPとは」紹介	班で回して3分間でどこまでできるか 班で回しながらアンケートに記入  「こんなときどうする？」シートに記入  「あなたがやってみたいこと」 
09:13	ことば遊びゲーム「あ〇〇る」 みんなの時間の使い方ぐるぐるアンケート	
09:31	時間の使い方について話し合う 自分レベルアップ 連想ゲーム 自分レベルアップ説明 班で自分レベルアップを模造紙に書き出す[A]	
09:43	自分レベルアップとスマホ・ネット スマホ・ネットが役に立つこと[B] スマホ・ネットが妨げること[C]	
09:50	休み時間	
10:00	自分レベルアップとスマホ・ネット 留学して他の班と考える 情報を持ち帰ってさらに考える	模造紙、ワークシートを貼り出して説明  S S = Smart Student 付箋紙に書き出す
10:17	3回の振り返り 3回でやったことと やったことの意味を改めて伝える	
10:20	先輩に送るSSアドバイス 一人ずつ発表→前に貼り出す	
10:30	私のSS宣言 自分が自分にするスマホ・ネットの約束	
10:45	終わりのあいさつ 先生からのメッセージ	

■ワークシート

あ〇る た〇る ま〇る  
い〇る ち〇る み〇る  
う〇る つ〇る む〇る  
え〇る て〇る め〇る  
お〇る と〇る も〇る  
か〇る な〇る や〇る  
き〇る に〇る ゆ〇る  
く〇る ぬ〇る よ〇る  
け〇る ね〇る ら〇る  
こ〇る の〇る り〇る  
さ〇る は〇る る〇る  
し〇る ひ〇る れ〇る  
す〇る ふ〇る ろ〇る  
せ〇る へ〇る わ〇る  
そ〇る ほ〇る 〇〇る

しい ひ〇い れ〇い  
す〇い ふ〇い ろ〇い  
せ〇い へ〇い わ〇い  
そ〇い ほ〇い 〇〇い

さ〇〇る は〇〇る る〇〇る  
し〇〇る ひ〇〇る れ〇〇る  
す〇〇る ふ〇〇る ろ〇〇る  
せ〇〇る へ〇〇る わ〇〇る  
そ〇〇る ほ〇〇る 〇〇〇る

●SSPの約束ワークシート

スマホ時代の中高校生ネット教育プログラムSSP  
SSPの約束 年 組 班

私の意見もあなたの意見も大切にします

●私が意見を言った時に、こんなことされると…  
x…いやだ ○…うれしい

みんなのプライバシーを守る

●「みんなのプライバシーを守る」ってこんなこと

●追加の約束

●提案  
言いたくないことは言わなくてよい  
人の意見や行動でいいところはどんどんまねてよい

●こんなときどうしてた？  
～昔の中高校生にインタビュー～

SSP 年 組 班

こんなときどうしてた？～昔の中高校生にインタビュー～  
こんなとき どうしてました！

A. 友だちと待ち合わせ  
友達と待ち合わせ

B. 教科書に載っていないことを調べるとき  
教科書に載っていないことを調べる時

C. 行ったことのないところに旅行に行くとき  
行ったことのないところに旅行に行くとき  
・どうやっていくか  
・見たいところ  
・おいしい食べ物  
・お土産を調べる

D. コンサートに行く  
・チケットの手配は？  
・会場までの行き方は？

E. 部活の連絡  
・練習の手配  
・緊急連絡

F. ひまつぶし

Manifest Of Smart Student

NAME


●ことば遊びワークシート  
※こねっと発達支援センター  
理事長 佐藤秀明氏考案

●Smart Student 宣言カード

## ■ファシリテーターの感想より

- 大人のワークショップと違い本当に未知の世界と言っても大げさではないと感じました。  
思春期の結束力と感性がよく作用すればスムーズにいけますが、一步間違えるとクラス全体の雰囲気壊しかねない危うさを持ち合わせていました。(中略) 個々の大人としての自律も求められ、ファシリテーターとしてよりも大人としての度量や器を試されるような場面も多々ありました。
- 中学生が、自分たちの問題を、自分たちで考え、話し合い、視覚化して行くという事は、とても大切なことだと思います。教えられる、与えられるという受け身だけだと、自分の事として自分で考えることに繋がりにくいと思うので。  
しかし、中学生に自分で考えて、それを話し合って、考え合ってもらう事がこんなに難しいとは…。難しいだろうとは思っていましたが、思っていた以上でした。
- どんなに良いプログラムでも、中学生が「やらされている」と感じていたら、本気にはならない。本心は出さない。ファシリテーターとして、どういう声かけ・働きかけをしたら良かったのだろうか？

## ■SSPファシリテーターの養成について

○メイン ファシリテーター	子どもとメディアインストラクターかつ、 経験豊富なワークショップファシリテーター5名
○サブ ファシリテーター	子どもとメディアインストラクターまたは、 経験豊富なワークショップファシリテーター15名
○受講時間	最低：6時間の養成講座×2日間 + 追加講座6時間×1日
○講座内容	SSPの基本理念/SSPファシリテーターの特徴 セッション計画書の把握/セッションロールプレイ
 ※今回は一定のスキルを有した方を養成対象にしたので18時間の養成講座だった。 ファシリテーションスキル習得、メディアインストラクタースキル習得を組み合わせた養成講座とすると24時間～30時間程度必要と推測される。	

## ■SSPの今後

学校での実施のハードルを下げ、より普及しやすいプログラムにすること、実施のための人材養成の仕組みづくりをすることを目指して、2014年度に福岡県内の中学校および高校において複数回実施する予定です。